

公益財団法人東京都島しょ振興公社

令和4年度第3回評議員会議事録

- 1 開催日時 令和5年2月15日(水) 10時40分～11時15分
- 2 開催方法 東京都港区海岸一丁目4番15号島嶼会館2階会議室及びテレビ会議システムによるオンライン開催
- 3 出席者 評議員総数 7名
出席評議員 7名 三辻 利弘 櫻田 昭正
広瀬 久雄 立川 佳夫
山田 則人※ 村田 拓也※
浅沼 徹哉※

※を付した評議員については、テレビ会議システムにより出席した。

出席理事 1名
理事長(代表理事) 青沼 邦和

- 4 議長選出 三辻 利弘
- 5 議事録署名人選出 櫻田 昭正 広瀬 久雄

- 6 決議事項
議案第1号 令和5年度事業計画案及び収支予算案について

- 7 議事の経過の要領及びその結果

事務局長より、評議員7名の過半数が出席しており、定款第20条第1項の規定に基づき、評議員会の議案に対する決議は成立する旨を告げた。

次に、出席した評議員の互選により選出された三辻 利弘氏が議長となり、議事録署名人について、議長は櫻田 昭正氏と広瀬 久雄氏の2名を指名、全員異議なく承認され、両人も承諾した。

- (1) 議案第1号 令和5年度事業計画案及び収支予算案について

議長は、議案第1号を上程し、配付資料により事務局長からの説明がなされた後、議長は、これを諮ったところ、次の質疑があった。

(広瀬評議員) 木炭倉庫の解体については、大島と八丈島の両方か。また、廃材は島外搬出か。

(事務局長) 大島と八丈島の両方である。また、廃材の処理については島外搬出を計画している。

審議の結果、原案どおり満場一致で承認された。

8. 報告事項

(1) 令和4年度第4回公社運営検討委員会の開催結果について

企画管理課長より、標記事項について説明がなされた後、次の質疑があった。

(広瀬評議員) 船が4日間欠航になった際にヘリコミで郵便を搬送しているが、ダイヤ改正によりこれまでの三宅から御蔵への積み替えができなくなった。そのため、新たに八丈から御蔵への積み替えをしなければならなくなったが、これについての総務省の許可がまだ下りていない。今は船が1週間以上欠航することがないが、あまり遅くなるようだと改めて要望等働きかけをしていかなければならないので、その点は認識しておいていただきたい。

(事務局長) ダイヤ改正による八丈から御蔵へのルート変更については確認していたが、その許可が下りていないということは把握していなかったので、大至急状況を確認する。

(浅沼評議員) 令和5年度の漁業農業就業体験について、農漁業に限らず新たな業種でも試行するとあるが、どこの島で行う等、計画はあるか。

(事務局長) 現在、新たな業種で検討を始めるところである。実施町村と業種については、資料記載のとおり漁業農業就業体験未実施の町村を優先する、かつ記載の対象事業を軸に検討することとしているが、現時点では確定はしていないので、広く各町村また各業種の皆様から意見を募り、令和5年度第1回公社運営検討委員会で企画案を提示したいと考えている。今年度末までに対象町村を決定したいと考えているので、各町村の皆様には、希望があれば事務局までお声掛けいただくようお願いしている状況である。

(立川評議員) 愛らんどシャトルの増便試行に関して、特に冬場はくろしお丸の欠航が続き、島民の足は愛らんどシャトルだけという状況なので、本実施についても必ずお願いしたい。

(事務局長) 増便試行及び効果検証について、青ヶ島村様にもご協力をお願いしたい。

(2) 理事長の職務執行状況について

企画管理課長より、標記事項について説明がなされた。

以上をもって、議事の全ての報告を終了したので、議長は午前11時15分閉会を宣し、解散した。

上記事項の経過の要領及びその結果を明確にするため、議長及び議事録署名人2名がこれに記名押印する。

令和 5 年 3 月 20 日

公益財団法人東京都島しょ振興公社 令和 4 年度第 2 回評議員会

議事録作成者
議長

三辻 利弘

評議員

櫻田 昭正

評議員

広瀬 久雄